

診療の基本

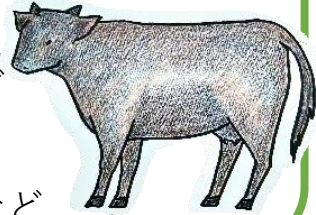
「牛のお医者さん入門」で出てきた内容を解説します。
動画を思い出しながら読んでみてください。

みる (視診) ししん

全身をよく観察します。

具合が悪かったり、病気にかかっていると、
見た目がふだんとちがうことがあります。

- 【例】せなかを丸めている→おなかが痛いなど
- 頭や耳を下げている→熱があるなど
- 毛づやが悪い→栄養不足、寄生虫感染など



さわる (触診) しょくしん

牛にさわります。

急にさわると牛がびっくりするので、
名前を呼ぶなど声をかけながらさわります。

- 【例】耳が冷たい→^{けっごう}血行が悪い
- つまんだ皮ふが3秒以上もとにもどらない→脱水※
- ※脱水（だっすい）：体の中の水分が少ないこと



はかる (体温測定) たいおんそくてい

体温を測ります。

40℃以上あるようなときは、
^{かんせんしょう}感染症や^{ねつちゅうしょう}熱中症の可能性が
あります。

体温計



クリップがついているのは、体温計が牛の肛門
(こうもん) からぬけ落ちるのを防ぐためです。

きく (聴診) ちやうしん

^{ちやうしんき}聴診器で、**肺、心臓、胃**などの動く音を^き聴きます。

打診のときに...
「ポンポン」音がする
→ガスがたまっている
「カンカン」音がする
→第4胃変位の可能性あり

肺：呼吸数 ^{こきゅうすう}	20～30回/分
心臓：心拍数 ^{しんぱくすう}	70～80回/分
胃：胃の収縮 ^{しゅうしゆく}	約4回/分

第4胃変位って？

牛には胃が4つあります。

4番目の胃（第4胃）が正しい位置から右や左に移動してしまうことを
「**第4胃変位（だいよんいへんい）**」と呼びます。第4胃変位になると、
ガスがたまったり、食べたものが腸に流れなくなって死んでしまうことも
あります。そうなる前に、第4胃を正しい位置にもどす治療をします。

胃が4つある、
牛ならではの病気です。